



令和元年度 予算概要

問 総務課財政係
☎ 0943-32-1255

今年度の当初予算は町長選挙を考慮し、経常的な経費を中心とした「骨格予算」としていました。6月定例会で、新規事業や政策的経費を追加した「実質的な本予算」となったため、その概要を紹介します。

子どもの遊び場整備工事費、保健・福祉センター工事費、子ども医療助成拡大に伴う経費などを盛り込んでいます。主な事業予算は次の通りです。

庁舎建設事業費 6369万円
熊本地震や九州北部豪雨などの大規模災害において、庁舎がもつ役割は非常に重要です。老朽化した庁舎の建て替えに向け、今年度は基本設計・実施設計を行います。

広川チルドレンズパーク事業 8084万円

身近な公園で子どもたちを安心して遊ばせられるようにするため、今年度は子どもの遊び場整備工事を行います。

保健・福祉センター管理運営事業 9391万円

保健・福祉サービス体制を確立して在宅ケアを充実させ、町民の皆さまが必要とするサービスを受けられるよう、拠点施設として保健・福祉センターの管理運営を行います。

今年度は築20年になる施設の各種設備工事（屋根や外壁の改修・塗り替え工事、1階浴室温水器取り替え工事、1階空調用冷却ポンプ取り替え工事、3階冷暖房用冷却温水器取り替え工事）を行います。

**消費税増税緩和対策
プレミアム商品券事業**

2811万円

消費税増税による低所得者、子育て世帯の負担や、消費に与える影響を緩和させ、地域の消費を喚起するため、プレミアム付商品券事業を行います（詳細は31ページ）。

健康づくり推進事業

2218万円

町民の健康寿命をのばすため、健康ポイント事業（詳細は13ページ）や運動事業、健診の受診年齢拡大を目指した若い人への受診促進を行います。

特別会計予算

それぞれの目的のために一般会計から切り離して経理する会計。国民健康保険特別会計が前年度から約8.9%（1億9,968万円）増加するなど、4つすべての特別会計が増加しています。

国民健康保険特別会計	24億4,660万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,758万円
住宅新築資金等貸付特別会計	140万円
広川防災ダム管理特別会計	2,117万円
6月補正後予算	27億4,675万円
	前年度から約8.8% (2億2,327万円)増

公営企業会計予算

民間企業と同じように、収益をあげて独立採算性をとる会計。今年度から下水道事業会計が地方公営企業法適用となり、公営企業会計へ移行することになりました。

下水道管の整備や上水道施設の維持管理、安全で良質な水の給水サービスを行います。

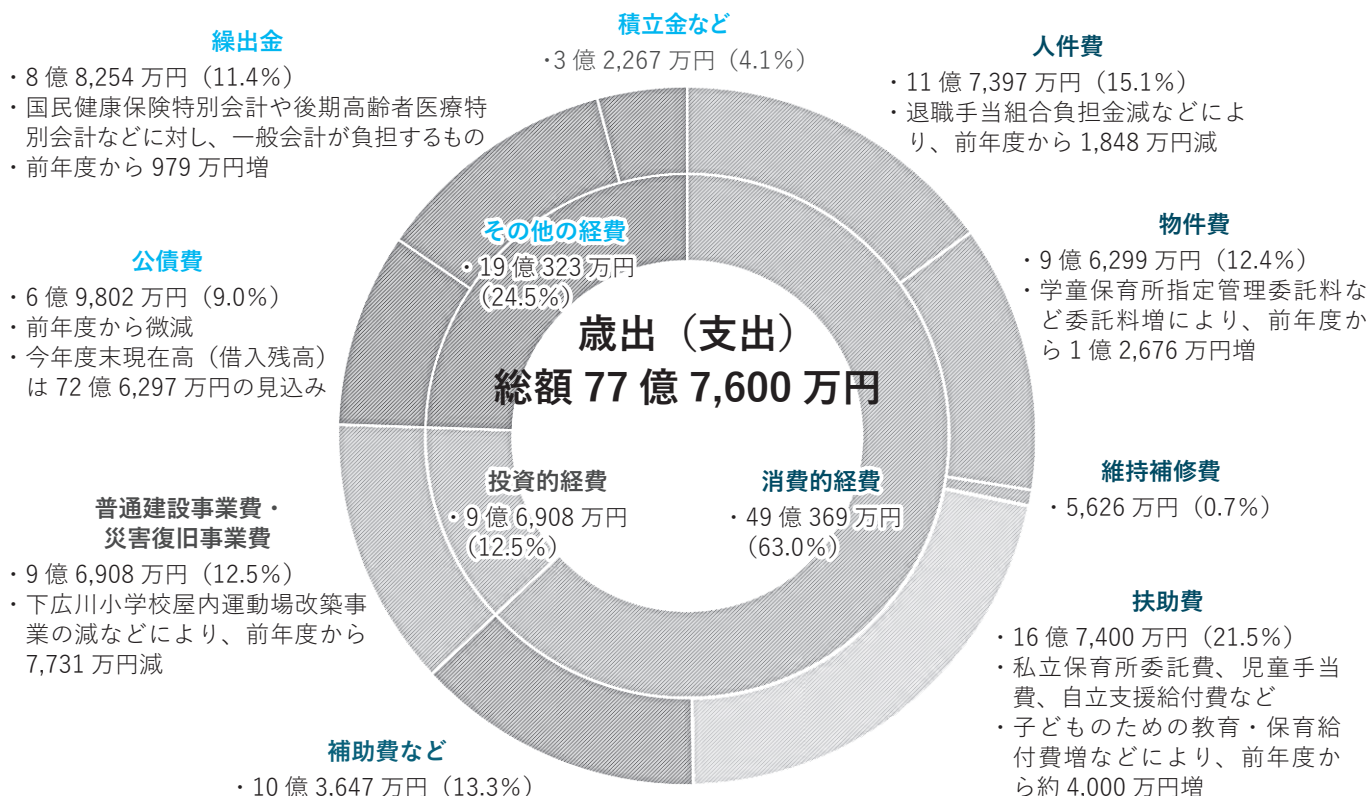
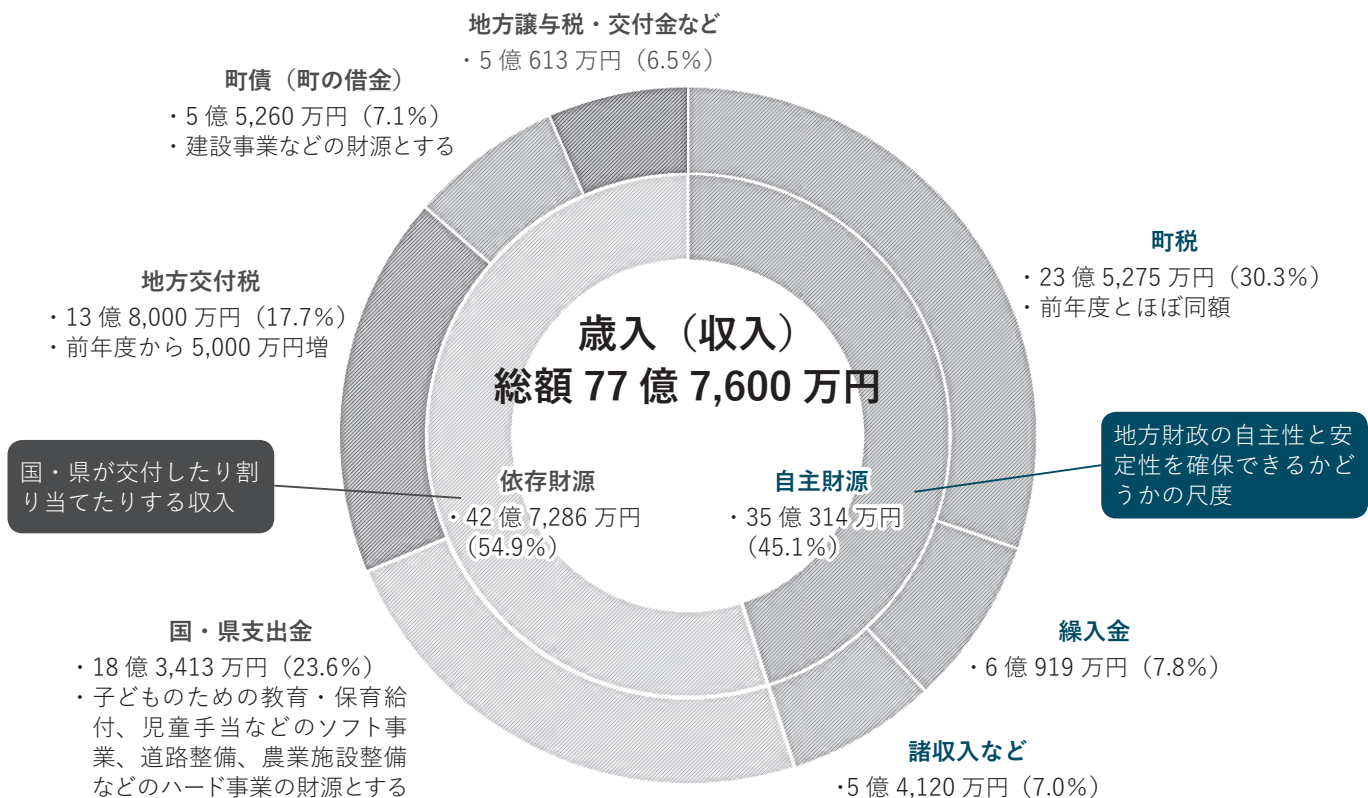
水道事業会計	4億3,721万円
下水道事業会計	7億1,246万円
6月補正後予算	11億4,967万円

一般会計予算

税金や保育料、地方交付税、国や県からの補助金、地方債（町の借金）などを財源として、行政サービス（福祉や教育など）や道路整備などを行う会計。

【6月補正後予算】77億7,600万円

前年度から約2.8%（2億1,370万円）増





この子が大きくなつたとき、
差別や偏見のない
世の中でありませうように

講演会「情報化社会と部落差別解消推進法」

入場無料／申込不要 **講師** 谷川 雅彦さん 一般社団法人 部落解放・人権研究所 所長

要約筆記あり

手話通訳あり

託児あり(無料、事前申込み必要)

とき **2019年 令和元年 7月20日(土)**
13:30～15:05 (開場 12:30)
●開会あいさつ 13:30より ●講演 13:35より

ところ **クローバープラザ
アリーナ棟2階 大ホール**
福岡県春日市原町3丁目1-7



※駐車場に限りがあります。ご来場は公共交通機関をご利用ください。

お問い合わせ (公財) 福岡県人権啓発情報センター
TEL 092-584-1271 FAX 092-584-1273
公式サイト <https://www.fukuokaken-jinken.or.jp>

ひとりで悩まずご相談ください
みんなの人権 110番
0570-003-110
(最寄りの法務局、地方法務局につながります)

【バス】
●西鉄バス JR春日駅バス停下車
●西鉄バス千歳町2丁目バス停下車

【電車】
●JR鹿児島本線「春日」駅から約90m
●西鉄天神大牟田線「春日原」駅から約720m

同和問題の解消に向け 一人ひとりが主体的に行動を

☎教育委員会事務局人権・同和教育係 ☎0943-32-0093

日本国憲法第14条では、「人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において差別されない」と規定されています。

しかしこの憲法の施行から70年以上たった現在も、多くの差別は解消されていません。日本の歴史的発展の中で生まれた「同和問題」も、いまだに解消されていない差別の一つです。

同和問題・人権問題の今

「同和問題」は「部落問題」「部落差別問題」ともいわれ、日本固有の人権問題です。一部の人が経済的、社会的、文化的に低い状態を強いられました。

同和問題は今なお現代に残っており、結婚を妨げられたり、就職で不公平な扱いを受けたりと、日常生活で差別を受けている人が多くいます。各自治体では同和問題などあらゆる差別をなくすため、一人ひとりが人権問題を正しく理解・認識し、主体的に行動できるよう啓発に取り組んでいます。しかし依然として差別事象は発生しており、人

権尊重の理念が十分浸透していないのが現状です。

7月は 同和問題啓発強調月間です

福岡県では昭和56年度から毎年7月を「同和問題啓発強調月間」と定め、同和問題について啓発を行っています。

期間中は県内各地で、さまざまな啓発行事が行われたり、ラジオやテレビで関連番組が配信されたりします。積極的に情報を集め、人権意識の高揚に努めましょう。あらゆる差別を解消するため、ご協力をお願いします。

【参考】全国人権擁護委員連合会「同和問題の手引き」

同和問題啓発強調月間・社会を明るくする運動

街頭啓発活動

日時：7月1日(月) 16:00～17:00
場所：A コープ広川店前
マミーズ広川店前
アスタラピスタ広川店前
☎協働推進課人権・同和对策係
☎0943-32-1196

広川町啓発行事

なるほど人権セミナー

入場無料 / 申込不要 場所：町民交流センター「いこっと」2階大研修室

第1回

同和問題の解消に向けて

7月3日(水) 19:00～20:30

講師：藤原 英記さん

(南筑後教育事務所人権・同和教育室社会教育主事)

第2回

豊かな社会を子どもたちに 渡していくために

私たちの学び・正しく知ること

7月11日(木) 19:00～20:30

講師：江田 昭彦さん

(久留米市教育委員会人権・同和教育課課長)

第3回

部落差別解消推進法と 人権のまちづくり

「広川町人権問題に関する住民意識調査」
から考える

7月19日(金) 19:00～20:30

講師：加藤 陽一さん

(福岡県講師団講師)